

【学会紹介】 岩手医科大学歯学会

岩手医科大学歯学会は、歯科医学の進歩、発展をはかることを目的として、岩手医科大学歯学部の教職員および卒業生が中心となり1975年11月に発足した学会です。その活動の主なものは、1) 会員の研究の発表の場としての歯学会総会(年一回)および歯学会例会(年二回)の開催、2) 岩手医科大学歯学雑誌の発行(年三回)、3) 若手研究者育成のための研究助成(一般、女性・若手、研究期間は3年間)を毎年行っています。岩手医科大学歯学会雑誌は、ホームページ(<https://iwate-shigakukai.com>)からJ-Stageあるいは機関レポジトリを通して、オープンアクセス化されており、広く一般の皆様にも活動の様子ならびに成果を発信しています。加えて、岩手県歯科医師会と合同シンポジウムを開催(隔年)するなど、地域医療との連携、地域医療への貢献を目指しています。2016年には東日本大震災関連シンポジウムを共催し、その成果は2017年発行の岩手医科大学歯学会雑誌特集号(第37巻)として刊行されています。

会長 三浦 廣行

【学会紹介】 岐阜歯科学会

岐阜歯科学会は、1973年(当時岐阜歯科大学 現朝日大学創立2年後)に歯学部学術外郭団体として設立し、朝日大学(岐阜歯科大学)教員、研究生、専攻生、大学院生、歯学部学生および卒業生で構成・運営させていただいております。

1993年には日本学術会議認可登録、2003年には岐阜県歯科医師会と学術医療提携、2004年に日本歯科学系協議会認可登録され、対外的にも学術団体としての形をつくりあげ、発展させてきました。岐阜県歯科医師会との学術医療提携を機に、岐阜県歯科医師会に特別講演をご依頼したり、学会誌に総説などをお寄せいただくなどの活動を実現させております。また、朝日大学歯学部の学生研究内容を発表する機会を提供し、表彰をおこなう等、歯学教育モデル・コア・カリキュラムにあるように“学生が研究に参加していくこと”に対して学生の研究等のモチベーションや自発的向上心を養える環境提供やサポートをする等、積極的な学生参加型の学会を目指しております。

現在、学会誌を年3回発行、総会を年1回、例会を年に2回開催し、また特別講義、共催講演会等は随時開催しております。

学会員をはじめ各関係機関にご協力いただきながら学会員の研究成果の発表、発信の場としてまた随時開催されている特別講演に国内外からの講師をお招きし、歯科界の動向を周知していただく機会を提供していくという役割を担っているものと自負しております。

これからも岐阜歯科学会会員の方々に研究発表の機会の提供など様々な活動を通し、研究と教育、地域歯科医療、また歯科界全般に貢献していける学会を目指し、会員の方々に支えられながら、朝日大学とともにあゆみ、発展していけることを願っております。

会長 永山 元彦

日本歯学系学会協議会 第17回講演会開催のご案内

下記の通り、講演会を開催いたします。どなたでもご参加いただけますので、多くの皆様のご参加をお待ちしております(事前申込不要)。

テーマ：「基礎と臨床の連携」

日時：2020年1月30日(木) 14:30~16:15

会場：日本歯科大学生命歯学部 100周年記念館 地下1階 九段ホール

(〒102-8159 東京都千代田区富士見1-9-20)

演者：石川 邦夫 先生(九州大学大学院歯学研究院口腔機能修復学講座生体材料学分野教授)

宮本 洋二 先生(徳島大学大学院医歯薬学研究部口腔外科学分野教授)

【学会紹介】

東京歯科大学学会

本学会の前身である「東京歯科医学会」は、本学の前身である東京歯科医学専門学校時代に、校内の研究発表を行ったことに始まり、昭和9年2月に東京歯科大学の月例の校内学会として発足しました。その後、第二次大戦時の休会を経て、昭和25年1月28日開催の例会から東京歯科大学学会と改称し、第1回がこの時開催されました。

それ以降、歯科医学および関連医学の進歩・発展に寄与し、あわせて会員相互の親睦をはかることを目的とし、東京歯科大学学長を学会長として、毎年10月に総会、6月に例会を開催しています。

また、本学会機関誌である「歯科学報」は、明治28年10月、高山歯科医学院院友会の機関誌「歯科医学叢談」として創刊され、明治33年に「歯科学報」と改題し、現在に至っています。

現在の会員数は、名誉会員・正会員・準会員・特別会員とあわせて4,000名を超え、わが国内外の歯科医学関連学会中、その活性度は高く評価されていると自負しております。

今後ともご支援とご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

会長 井出 吉信

【学会紹介】

日本歯科大学歯学会

歯学会は、大正3年4月（1914）日本歯科医専（日本歯科大学の前身）の同窓会である校友会学術部が主催して日本歯科医学大会を開催し、これを機に日本歯科研究会が誕生し、これが歯学会の基になっています。その後、大正6年日本歯科学会、昭和16年日本口科学会と改称し、昭和23年10月、現在の日本歯科大学歯学会として今日に至っています。歯学会は学術の発展向上を図るとともに日本歯科大学の発展、会員の学術の向上に寄与することを目的とし、日本歯科大学を卒業した同窓、また本学の教員によって構成される学術団体です。本会の活動は学術研究発表および講演等学会の開催、学会機関誌等の発行、講習会・研修会の開催、さらに目的を達成するために必要と認められた事業を行っています。平成13年（2001年）に日本歯科大学の機関紙として1908年から発行してきた和文誌歯学を休止し、国際誌Odontologyを発刊しています。現在、Odontologyは年4回発行され、IFが2018年度で1.8であり、国内外からの歯科医学に関係した多くの論文が掲載されています。また歯学会はodontology掲載論文で優秀な論文に対しては学会としてOdontology Prizeを授与しています。歯学会は、この他6月開催の歯学会大会、12月開催のウィンターミーティング、エキスパートセミナー、研究推進フォーラムの開催や和文誌として年2巻の歯学特集号の発刊、年4巻校友会とともに歯学会報を発刊し、若手研究者の優秀な論文に対しては学術研究奨励賞を授与しています。歯学会は本学の各県の同窓生会（日本歯科大学校友会）と連携して希望に応じて本学の教員を一年に一度講師として派遣し、講習会や研修会の開催を行い、学術の向上を目指した活動を行っています。また年2か所各数県をまとめた地区での校友に対して地区歯学研修会を開催しています。会員数は8,721名（2019年11月現在）です。

会長 渡邊 文彦

【日本歯学系学会協議会からのお願い】

歯学協ニュースに対するご意見、ご要望等ございましたら、日本歯学系学会協議会事務局までご連絡下さい。

また、ホームページに会員学会情報、大会情報を掲載しております。学会情報の変更や、学術大会日程等が決まりましたら、情報を更新いたしますので、日本歯学系学会協議会事務局までご連絡下さい。

<学会情報> <http://www.ucjds.jp/about/society.html>

<学術大会情報> http://www.ucjds.jp/event/meet_list/

（一社）日本歯学系学会協議会 事務局

〒170-0003 東京都豊島区駒込 1-43-9 駒込 TS ビル（一財）口腔保健協会内

FAX : 03-3947-8341、E-mail : gakkai18@kokuhoken.or.jp